

# forum かわあばん

発行:(一社)福井県建築士会 〒910-0854福井市御幸3-10-15(福井県建設会館) TEL(0776)24-8781/FAX(0776)24-9570  
登録番号:T1210005000262 E-mail:info@fukuiken-kenchikushikai.or.jp HP:http://www.fukuiken-kenchikushikai.or.jp/

## 令和6年度 監理技術者講習 開催のお知らせ



本講習は公益社団法人日本建築士会連合会が国土交通省より「監理技術者講習」の登録講習機関の認可を受け、福井県建築士会が開催するものです。本年度は右記の日程表のとおり開催します。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の建築工事分野でご活躍されている監理技術者を対象に、実務に役立つ充実した内容の講習を行いますので、この機会に多くの建築施工系監理技術者の受講をお願いします。

受講申込: 随時行っています。

受講料: テキスト・講習修了ラベル代込、税込

- WEB申込み…9,500円/1名
- 郵送・窓口申込み…10,000円/1名

講義の内容: DVDによる講義+修了試験(計360分)行います。

申込み方法: 日本建築士会連合会のホームページで「監理技術者講習」の申込ページをご覧ください。 <http://www.kenchikushikai.or.jp/>

※企業一括申込み(2名以上)が可能です。詳しくは下記まで電話下さい。

問合せ先:(一社)福井県建築士会 TEL 0776-24-8781 まで

土木系の  
監理技術者の受講も  
可能です。

### ◆令和6年度監理技術者講習 日程表

会場	開催日		
福井	4月10日(水)	6月5日(水)	8月7日(水)
	10月2日(水)	12月11日(水)	2025年2月5日(水)
敦賀	6月26日(水)	10月22日(火)	

福井会場/第2演習室(定員12名) 敦賀会場/会議室(定員15名)

### ◆会場所在地

【福井会場】福井県中小企業産業高等学校  
(福井市下六条町16-15)  
【敦賀会場】プラザ萬象(敦賀市東洋町1-1)

建築士会が行う  
監理技術者講習  
の特色

- 1 建築に特化した実務に役立つ講習
- 2 わかりやすく利便性の高いテキスト使用
- 3 建築士会CPD単位6単位の付与
- 4 上記以外に建築士会CPD制度加入者の方は建築士会連合会のWEB問題回答でのCPD単位(2ヶ月に一度3単位取得可能年間最大18単位)が受講後5年間取得可能となります。



## 令和5年度 福井県被災建築物応急危険度判定士認定講習会 ご案内



平成7年に発生した阪神・淡路大震災を機に、応急危険度判定が全国で初めて実施され、余震等による二次災害の防止に大きな効果を挙げました。

この成果をうけ、全国的に被災建築物応急危険度判定制度の整備が進められ、福井県においても、地震による建築物の被害から県民の安全を確保するため、平成7年から応急危険度判定士の養成に努めてまいりました。

今年1月に発生した令和6年能登半島地震では福井県から約60名の判定士を派遣しました。現在、1,000人を超える建築士の方が判定士として認定されていますが、今後も県内に限らず、県外においての活動も求められることが考えられます。

建築士の皆様方には、是非、本講習会を受講され応急危険度判定士の認定申請をしていただきますようお願いいたします。

### 1. 講習会開催日程等

CPD 2単位

開催日	会場名	定員	開催時間
令和6年 3月13日(水)	福井県建設会館 4階 大会議室 (福井市御幸3丁目10番15号)	70名	14:30~16:20 (受付14:00~)

※会場駐車場が少ないため、できるかぎり公共交通機関の利用をお願いします。

時間	講習内容
14:30~14:35	開会挨拶
14:35~16:20	1. 応急危険度判定制度について 2. 応急危険度判定基準について 3. 応急危険度判定の演習等

### 2. 受講料 無料

### 3. 受講資格・受講申し込み等

受講資格	次の①~③のいずれかに該当する方 ①県内に在住または勤務する建築士(一級・二級・木造)で、 <u>判定士として登録する意思のある方</u> ※ボランティアとして、被災地での活動に参加できる方に限ります。 ②福井県被災建築物応急危険度判定士 ③行政職員
申込受付期日	3月6日(水)必着 なお、定員になり次第締め切ります。
申込提出方法	申込フォームよりお申込みください。→ <a href="https://forms.gle/15YA7hfAex3AsWCP7">https://forms.gle/15YA7hfAex3AsWCP7</a>
認定に必要な持参物	★新規・更新登録には下記のものが必要です。受講の際に必ず持参してください。 ①受講票(FAXによる申込の場合は受付印のあるものがFAXにて返送されます。申込フォームによる申込の場合は受付完了メールにて送られます。) ②身分証明書の写し(運転免許証または住民票等) ③建築士免許証の写し ④写真1枚(縦3cm×横2.5cmで無帽・正面・上半身・カラーで6か月以内の撮影。写真裏面に氏名を記入)

### 4. 問い合わせ先: 一般社団法人 福井県建築士会

〒910-0854 福井市御幸3丁目10-15 福井県建設会館内2階  
TEL: 0776-24-8781 FAX: 0776-24-9570

# えちてつ文化財駅舎巡り

主催：福井県建築士会福井支部

とき 令和6年3月9日(土)  
13:30~15:00

## えちてつ三国線

福井駅 9:09発—  
鷺塚針原駅 9:30着(見学30分) 10:00発—  
本庄駅 10:15着(見学30分) 10:45発—  
三国港駅 10:58着(見学41分) 11:39発—  
福井着 12:31 各自福井駅周辺昼食

## えちてつ勝山線

福井駅 13:25発—  
松岡駅 13:45着(見学30分) 14:15発—  
永平寺口駅 14:20着(見学60分) 15:20発—  
勝山駅 15:49着(見学60分) 16:49発—  
福井駅 17:42着 解散

●途中合流、途中抜けも可です。 ●永平寺口駅の赤レンガ旧変電所の内部も見学。

解説：吉田純一先生、高嶋猛先生、清水吉雄氏(勝山駅舎改修設計監理)  
参加費：建築士会会員とその家族、学生は無料。左記以外は500円。  
えちてつ一日フリーきっぷ 1000円は各自購入。

## 事前申込要

先着30名 締め切り：3月7日

当日の時間変更等もあり得るので、申込者に当日の連絡先をお伝えします。  
申込先：福井県建築士会事務局

●パークアンドライド駐車場(無料)は越前新保(福井市街)9台、越前島橋(福井北IC近く)30台、観音町(松岡手前)24台、中角(森田)15台等

## 生涯学習講座のご案内

### 「越前民家の仏間にみる真宗念仏と住まい」について

とき：令和6年3月26日(火) 13:30~15:00

ところ：南越前文化会館2階会議室

定員：20名 受講料：無料

講師：福井工業大学 教授 市川秀和氏

主催・申込先：南越前町教育委員会事務局

TEL:0778-47-8005 E-Mail:kyouiku@town.minamiechizen.lg.jp

# 第10回 ふくい建築賞2023 最終審査会

会員のみなさまのご協力をおもひまして10回目を迎える「ふくい建築賞」、今回も県内から、大規模建築部門・中小規模建築部門・住宅部門の3部門において応募があり、1次2次審査を通過した優れた建築作品が「最優秀賞」に挑みます。素晴らしい作品のプレゼン審査会を公開します。ぜひお楽しみにご参加下さい。

日時：令和6年3月23日(土) 13:00~17:00

場所：福井県中小企業大学大講義室

審査に先立ち審査委員の一人である野嶋 慎二氏(福井大学建築建設工学科教授)の講演会を開催します。

## 情報提供コーナー

●建築士事務所の開設者がその業務に関して請求することのできる報酬の基準(令和6年国土交通省告示第8号「業務報酬基準」)が令和6年1月9日付けで公布・施行となりましたのでお知らせいたします。詳細は国土交通省HPにてご確認ください。

●国土交通省・環境省・経済産業省が連携して支援する「住宅省エネ2024キャンペーン」および「子育てエコホーム支援事業」の公式ホームページが開設されました。

▷住宅省エネ2024キャンペーン 公式ホームページ  
<https://jutaku-shoene2024.mlit.go.jp/>  
▷子育てエコホーム支援事業 公式ホームページ  
<https://kosodate-ecohome.mlit.go.jp/>

## my(エムワイ)省エネ エムワイ省エネ設計事務所

●所在地 福井県福井市板垣5丁目624番地  
●TEL・FAX 0776-43-0585  
●携帯 080-6357-0894  
●E-mail spew5m79@carol.ocn.ne.jp  
●URL <http://myshoenesekkei-office.jimdo.com/>  
●担当者 代表 薬師 誠

## 業務内容

### ■建築物省エネ法の係わる住宅・非住宅建築物の『省エネ計算代行業務』の専門の設計事務所

- ①非住宅建築物の適合判定又は届出申請の代行業務(モデル建物法・標準入力法による)
- ②住宅・非住宅建築物のCASBEE評価認証の申請代行業務
- ③住宅の長期優良・認定低炭素・ゼロエネ(ZEH)の計算及びBELS認証・こどもみらい住宅支援事業省エネ計算代行申請
- ④2025年4月法改正による「4号特例廃止」・「ZEH水準木造の構造基準変更」・「全ての建築物の省エネ適合義務化」で木造住宅建築物の構造計算(許容応力度も可)及び省エネ計算の代行申請業務

## 登録内容

一級建築士事務所 福井県知事 第い-1725号 既存住宅状況調査技術者 No2018-037  
一級建築士 大臣登録 第160328号 CASBEE建築評価員 登録08130-25

【1970~90年代の県外建築家の作品紹介②:最終回】

川端秀和・廣瀬廣嗣・野中裕介・朝日海秀・市川秀和

## 戦後モダニズムの超克からポスト・モダニズムの現代思潮へ



五十嵐直雄  
(1915~1987)



磯崎新  
(1931~2022)



谷口吉生  
(1937~)



黒川紀章  
(1934~2007)



渡辺豊和  
(1938~)



遠藤秀平  
(1960~)

1970年代以降の日本建築界の動向が、県内へ流れ込んで如何なる影響を齎したのか。このような問いの射程を県外の有名建築家10名による県内作品に設定し、その建築家のことばと作品を読み解く今年度の連載企画は、若手を中心に5人の執筆メンバーで進めてきた。最終回を迎え、福井県近現代建築史の視座から総括する。

空襲と震災、水害等乗り越えた戦後福井の建築復興は、戦前の福井高等工業学校建築科卒の官庁技師や民間建築士らの活躍があつてこそ達成された。さらに当時の機能主義・伝統論争等のモダニズム思潮を地方都市の福井から発信し、当地の戦後建築の方途を実質的に先導した人物こそ、五十嵐直雄である。丹下健三と同期の五十嵐は、郷土福井のローカル・アーキテクト像を創り上げ、真壁の意匠論による独自の制作態度を堅持した。

ところが1960年代後半、磯崎新や谷口吉生らが師・丹下による戦後建築界の超克を目指して新たな道を切り拓き始めた。その磯崎と谷口による福井の作品が、当然のごとく、五十嵐の創り上げてきた戦後モダニズムも超克する契機となったことは間違いない。1970年代の福井では公共建築コンペなども活発となり、県外の建築家が多数流れ込んで、大きな変革期を迎えた。80-90年代には、福井とゆかりのある渡辺豊和や遠藤秀平、そして黒川紀章らの作品が、福井の地にポスト・モダニズムの現代思潮を強烈に吹き込むに至る。それから四半世紀後の今の福井建築界は、来たる新時代と立ち向かうことができるのであろうか。(市川秀和・朝日海秀)